

第3章 中山間地域活性化ワークショップでの意見の概要

1 ワークショップの開催状況

(1) ワークショップの目的

ワークショップは、中山間地域の課題、活性化の方向などに関する幅広い意見を把握し、基本方針を策定するうえでの参考にするとともに、参加者の地域づくりへの関心を高め、参加者相互の交流を図ることなどを目的に開催しました。

(2) ワークショップへの申込者数

ワークショップへの申込者数は73人で、住民組織からの申込者数が38人、一般からの申込者数が35人でした。

表 ワークショップへの申込者数 (単位：人)

地域	住民組織	一般	合計
三原	8	13	21
本郷	6	11	17
久井	17	4	21
大和	7	7	14
合計	38	35	73

(3) ワークショップなどの内容・参加者数

ワークショップを5回、先進地視察を1回行いました。

表 ワークショップなどの内容・参加者数

開催回	日時	場所	主な内容・テーマ	参加者数
第1回	平成24(2012)年 9月23日(日) 14:00~16:00	本郷生涯学習センター	講演会 事業概要の説明	52名
第2回	10月27日(土) 14:00~16:00	本郷生涯学習センター	意見交換 ・地域の魅力・資源、活用アイデア ・地域の問題点・心配なこと、課題解決・地域活性化のアイデア	30名
第3回	11月25日(日) 15:30~17:30	神田公民館	意見交換 ・取り組んでいきたいこと、取り組んでほしいこと ・各取り組みの役割分担、優先順位など	34名
第4回	12月9日(日) 14:00~16:00	久井保健福祉センター	意見交換 ・将来方向 ・推進体制づくりと活動への支援	36名
先進地視察	平成25(2013)年 1月12日(土) 12:45~15:30	安芸太田町殿賀地区	安芸太田町及び殿賀地区の取り組みの視察	19名
第5回	1月20日(日) 14:00~16:00	本郷生涯学習センター	講演会 ワークショップのまとめ	32名

2 ワークショップでの意見

(1) 中山間地域の魅力・資源

中山間地域の魅力・資源に関する主な意見は次のとおりです。

表 中山間地域の魅力・資源

地 域		内 容
共 通		<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然（森林，川，動植物など），落ち着いた農村環境（田，畑，休耕田） ・子育てに適した環境 ・広島空港，山陽自動車道インターチェンジに近い立地条件 ・三原市中心部，その他近隣都市に近い立地条件 ・住民相互の結びつき・団結力，60歳代中心の地域活動
三原地域	八幡町	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡川，ホタル観賞 ・御調八幡宮（県立自然公園）の春の桜，秋の紅葉
	高坂町	<ul style="list-style-type: none"> ・仏通寺川，昇雲の滝，ホタル観賞の場（住民で整備・飼育） ・佛通寺（秋の紅葉），花の踊り（4年に1回） ・ブドウ園，有機農法の農産物 ・高坂自然休養村（キャンプ場，コンサートの開催など）
	鷺浦町	<ul style="list-style-type: none"> ・塔の峰千本桜，魚釣り（貝，サザエ掘りなど），海水浴 ・スイカ，メロン，柑橘類（レモンなど）などの特産物 ・トライアスロンさぎしま大会
本郷地域		<ul style="list-style-type: none"> ・鮎，船木峡（安芸の嵐山），畑の滝，ホタル，船木地域の桜並木 ・古墳（貞丸，御年代，梅木平），小早川氏関係の城跡（新高山，高山，梨羽山），山城のネットワーク ・広島空港周辺（広島空港，県立中央森林公園，広島空港大橋，フライトロード，温泉スタンドなど）
久井地域		<ul style="list-style-type: none"> ・芝桜，イチゴ栽培 ・12の集落農場型農業生産法人の活動 ・久井の岩海，宇根山天文台
大和地域		<ul style="list-style-type: none"> ・源流の里，山林，棲真寺（広島空港大橋の眺望が良い），備後神楽 ・はと麦，そば，小麦粉など，果物（桃，柿）などの特産物 ・白竜湖スポーツ村公園，道の駅よがんす白竜，果実の森公園などの観光農園，市民農園

(2) 中山間地域の問題点・心配なこと

中山間地域の問題点・心配なことに関する主な意見は、次のとおりです。

表 中山間地域の問題点・心配なこと

区 分		内 容
高齢者の支援・子育て環境の整備	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・通院、買い物などの交通手段（公共交通）が不便であること ・マイカーがないと生活できないこと（運転できなくなった時に不安） ・一人暮らしの高齢者や認知症高齢者の増加や日常生活に不安があること（見守り、災害時の支援など） ・高齢者の入所施設が少ないこと
	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・若者、子どもが少なく活気があまりないこと ・小学校が廃校になること
地域環境の整備と農林業などの産業の振興	就業場所	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の就業の場が少ないこと ・会社、企業が少なくなること
	農地・農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業所得が停滞、低下していること ・有害鳥獣被害（イノシシ、シカなど）により、農家の生産意欲が低下していること ・農業の担い手不足（高齢化）、後継者がいないこと ・農業生産法人の雇用が不規則で、若者の就業の場にならないこと ・耕作放棄地が増えていること
	林地・林業	<ul style="list-style-type: none"> ・山が荒れていること ・林道整備が遅れていること
観光・交流の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・来訪客が少ないこと、滞在時間が短いこと ・観光資源の活用・PR不足であること ・地域での観光案内が不十分であること ・アクセスの不便な所があること（佛通寺など）
地域活動・イベントの活性化	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校が地域になく、子どもの交流機会が減少していること ・集まる機会が少なくなり、コミュニティ活動が希薄化していること ・高齢者と若者（子ども）の交流する場が不足していること ・娯楽が少なく、住民（特に若者）が集まりにくいこと
	イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・行事、催し物などで高齢者が集まりにくいこと（体力の衰え、交通手段の問題） ・人口減少、高齢化により地域行事への参加者が減少していること ・担い手の高齢化で、地域行事を維持することが困難化していること
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の利用に制限があり、利用しにくいこと ・地域の情報が伝達されないこと ・地域環境の管理が難しくなっていること
若者の定住		<ul style="list-style-type: none"> ・中心部に近く、人口が流出している（便利な所へ若者が出ている）こと ・空き家の活用が不十分であること ・空き家が老朽化して、地域の景観を阻害していること ・雇用促進住宅の利用者が少なく、空いていること

(3) 中山間地域で取り組んでいきたいこと、取り組んでほしいこと

地域の魅力・資源の活用，問題点・心配なことへの対応，活性化のアイデアなど，中山間地域で取り組んでいきたいこと，取り組んでほしいことに関する主な意見は次のとおりです。

表 中山間地域で取り組んでいきたいこと，取り組んでほしいこと

項目	内容
高齢者の支援・子育て環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <子どもと高齢者> ・子どもと高齢者の見守り活動の充実 ・子どもと高齢者の交流の推進 ・施設の有効活用・整備（集会所，子育て施設など） <高齢者> ・ふれあいサロン活動の充実 ・高齢者の健康づくりの充実 ・高齢者の生活交通の確保対策の充実（地域内生活交通手段の充実） ・高齢者の災害時の支援の強化 <子育て> ・交流の場（集いの広場）の充実 <福祉全体> ・福祉意識の醸成（子どもの頃から福祉意識を育てること） ・県立大学と連携した人材の活用
地域産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <農林業の活性化> ・農業指導・研究体制の確立（指導機関，大学などとの連携，情報提供） ・担い手の確保・育成（農業生産法人の設立支援，経営の支援，中核農家の育成，新規就農支援など） ・補助制度を活用した農地の保全 ・農産物の特産化，農産物加工の推進 ・多様な農産物流通の推進 ・農産物のPRの推進 <その他の産業の活性化> ・森林資源の保全・活用（竹炭，椎茸生産，間伐材の燃料利用など） ・太陽光，小水力発電，企業誘致など <農山村環境> ・里山の整備，花の植栽など
地域資源の活用，観光・交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報の発信強化（マスコミ，インターネットなどの活用） ・特徴のある地域別観光案内マップの作成 ・既存観光資源・イベントの魅力の向上と集客の強化（佛通寺，本郷地域の古墳，城跡，トライアスロン大会など） ・新規観光資源の発掘，体験観光（自然，農林水産業，食など）の推進 ・三原の食づくりの推進 ・観光交流の人材の確保・育成
地域活動・イベントの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダーの育成 ・備後神楽などの伝統芸能の後継者づくり ・地域行事運営体制の充実 ・地域内交流の推進 ・魅力的なイベントづくり（若者によるイベント企画の場の提供） ・地域行事・イベントのPRの強化による集客の推進 ・地域環境の保全・整備（草刈り，清掃など）
定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に愛着を持つ子どもの育成 ・新規就農者の受け入れ体制づくり ・空き家バンクの活用 ・地域の魅力のPR（インターネットの活用など）

(4) 中山間地域の将来方向

中山間地域の将来方向に関する主な意見は、次のとおりです。

表 中山間地域の将来方向

地 域		将来方向
三原 地域	八幡町	・若者が地域や農業の担い手として活躍する地域
	高坂町	・高齢者が元気に活動し、安心して暮らす地域 ・地域体験を通じ、都市住民との交流が活発な地域 ・子どもや若者が多く住む地域
	鷺浦町	・子育て世代が多く住む地域 ・高齢者が健康状態に応じて役割を担い、元気に活動する地域
本郷地域		・自然環境が保全されている地域 ・高齢者が担い手として活動し、安心して暮らす地域 ・子どもが地域で元気に成長する地域 ・若者が持続的に定住することができる地域 ・故郷への愛着・誇り・帰郷意識の持てる地域 ・住民一人ひとりが地域での役割を担い、幸福に暮らせる地域 ⇒子ども・高齢者・自然みんなで取り組む（協働）定住と幸せ
久井地域		・高齢者が元気に活動する地域 ・住民（三世代）の交流が活発な地域 ・若者が定住する地域（就業の場がある） ・農業で生計をたてられる地域 ・歴史文化が大切にされる地域 ・都市住民との交流が活発な地域
大和地域		・若者と高齢者が参加・協力する元気な地域 ・農業を核とした地域の活性化と都市との交流 ・全員参加による住んで良かった、住みたくなるまちづくり

(5) 地域活動の推進体制づくりについて

ア 地域活動の問題点・課題と推進するために必要なこと

地域活動の問題点・課題と推進するために必要なことに関する主な意見は次のとおりです。

表 地域活動の問題点・課題と推進するために必要なこと

区 分	活動の問題点・課題	活動を推進するために必要なこと
活動の担 い手	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の担い手の減少 ・高齢者主体の活動 ・一部の人への役割の集中，負担の増大 ・若者の減少，参加が少ないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の発掘，研修・交流，情報交換の場づくり ・若者の出番の確保，育成 ・小・中学生，高校生への活動参加の働きかけ ・住民などの得意分野の活用 ・地域出身者との連携
組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会の活動の停滞 ・女性会・老人クラブなどの活動の停滞・消滅 ・地域の団体・グループの連携が不十分であること ・役員任期の関係で継続的な活動が困難であること 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会などの地域団体の連携の強化 ・役員などが継続的に取り組む体制づくり ・地域組織の運営の強化の検討
運営のノ ウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決，活性化のためのノウハウの不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進事例の情報収集・活用
情報の共 有と合意 形成	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有不足 ・住民相互，家族内での意識の相違 ・とりまとめ役の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の情報発信体制の強化による情報共有の推進
活動資金	<ul style="list-style-type: none"> ・活動資金の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動資金の確保（廃品回収，寄付など） ・補助金の活用

イ 地域活動を推進するために必要な支援

地域活動を推進するために必要な支援に関する主な意見は次のとおりです。

表 地域活動を推進するために必要な支援

区 分	内 容
支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域に対する取り組み姿勢の強化 ・中山間地域に対する相談・支援窓口の一元化，関係課の連携体制の確立
担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成に向けた研修会，講演会，交流会の開催など
円滑な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・地域へのアドバイザー派遣 ・活動への職員の参加
活動資金	<ul style="list-style-type: none"> ・活動資金の支援 ・補助金使用目的の緩和 ・地域への様々な補助金を集約化し，一括交付金として支給
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市と地域団体との情報の受発信と共有の強化 ・地域の団体・グループを市の広報などでPR ・組織運営，地域づくり，地域での起業に関する先進事例の収集・提供

3 ワークショップでの意見のまとめ

＜地域の魅力・資源＞

＜共通＞

- ・豊かな自然，子育てに適した環境
- ・広島空港・高速道路の利便性，都市部に近い立地条件
- ・地域コミュニティ など

＜地域＞

- 八幡町：八幡川，ホテル観賞，御調八幡宮，県立自然公園
 高坂町：高坂自然休養村，佛通寺，仏通寺川，ブドウ園
 鷺浦町：塔の峰千本桜，トライアスロン大会，特徴のある農産物
 本郷地域：鮎，船木峡，船木地域の桜並木，古墳，小早川氏城跡，広島空港周辺
 久井地域：農業生産法人の活動，久井の岩海，宇根山天文台
 大和地域：白竜湖スポーツ村公園，観光農園，市民農園，棲真寺，備後神楽 など



＜地域の将来方向と地域活性化に向けての取り組み事項＞

＜地域の将来方向＞

- ① 高齢者・若者・子どもなど，誰もが元気に暮らす地域
- ② 農業を核とした地域産業の振興と都市住民との交流による活力と魅力のある地域
- ③ 地域活動への参画と役割分担，協働による住んで良かった，住みたくなる地域



＜地域活性化に向けての取り組み事項＞

1 高齢者の支援・子育て環境の整備

- ・子ども・高齢者の見守り活動，子どもと高齢者の交流の推進
- ・高齢者のふれあいサロン，健康づくり，生活交通の充実，災害時の支援
- ・施設の有効活用
- ・福祉意識の醸成と人材活用の推進

2 地域産業の振興

＜農業＞

- ・営農指導・研究体制の確立，農業情報の提供の強化
- ・担い手の確保・育成（農業生産法人，中核農家，新規就農者など）
- ・農地の保全
- ・特徴のある農産物生産・6次産業化，農産物のPRの推進

＜その他＞

- ・森林の保全・活用（竹炭，椎茸，間伐材の燃料利用など）
- ・太陽光，小水力発電
- ・里山の整備，花の植栽

3 地域資源の活用，観光・交流の推進

- ・観光・交流情報の発信
- ・観光案内マップの作成
- ・既存観光資源の魅力向上と新規観光資源の発掘，体験観光の推進
- ・観光・交流の人材の確保・育成

4 地域活動・イベントの活性化

- ・リーダーの育成，イベント運営体制の充実
- ・交流機会の増大と魅力あるイベントづくり
- ・イベントのPRの強化 など

5 定住の促進

- ・地域に愛着を持つ子どもの育成
- ・新規就農者の受け入れ体制づくり
- ・空き家バンクの活用
- ・地域の魅力のPR（インターネットの活用など）

など

※定住促進は，各項目での横断的な取り組みが必要



＜活動の推進＞

＜推進体制づくり＞

- ・活動の担い手の育成
- ・組織体制の強化
- ・運営ノウハウの収集・活用（先進事例など）
- ・地域内の情報発信の強化による情報共有
- ・活動資金の確保

など

＜活動推進のための支援＞

- ・市の担当窓口の連携強化や一元化
- ・活動の担い手の育成
- ・円滑な運営の支援
- ・活動資金の支援
- ・情報提供

など

＜地域の問題点・心配なこと＞

1 高齢者の支援・子育て環境の整備

- ・見守り・生活支援の必要な高齢者の増加
- ・高齢者の生活交通手段の不足
- ・若者・子どもの減少，小学校の統合

2 地域環境の整備と農林業などの産業の振興

- ・若者などの就業の場の不足
- ・農業所得が少ないこと
- ・担い手の減少・高齢化の進行，有害鳥獣被害の増加
- ・耕作放棄地・荒廃山林の増加

3 観光・交流の推進

- ・来訪客が少ないこと，滞在時間が短いこと
- ・観光資源の活用・観光案内・PRの不足，観光基盤の未整備

4 地域活動・イベントの活性化

- ・子ども相互・子どもと高齢者の交流が少ないこと
- ・地域行事への参加者の減少，地域行事の維持の困難化
- ・地域環境管理の困難化

5 若者の定住

- ・若者が地域に住まない，帰ってこないこと
- ・空き家の増加 など

